



戦後愛媛のイノベーション30選

環境に優しい社会、 きれいで快適な生活の 創造に貢献する 三浦工業の小型貫流 ボイラ



SQ型 (平成30年)

熱・水・環境のベストパートナー

MiURA



ZP型 (昭和34年)

三浦工業の創業者三浦保が「世界一安くて良いボイラーを創ろう」という信念のもと開発された小型貫流ボイラ ZP 型（昭和34年）は、高効率で安全性が高く誰にでも簡単に運転できるという点から日本中の商店や中小企業の熱源として活躍。産業の発展に貢献し、国民生活の向上につながった。平成27年にはその実績が評価され、日本機械学会により「機械遺産」に認定された。

貫流ボイラは炉筒煙管ボイラや水管ボイラに比べて保有水量が少なく、着火から蒸気発生までの時間が極めて短いため、複数台設置することで、きめ細やかな台数制御によって負荷変動に対応することが可能だ。現在では産業ボイラ市場（発電等大容量除く）の約70%が貫流ボイラで占められ、日本の産業に無くてはならない存在に成長した。